

**青葉山エリアにおける最新テクノロジーを織り交ぜた観光コンテンツ造成業務
及びエリアの滞在環境整備にかかる回遊性向上に関する調査業務にかかる
公募型プロポーザルの選定結果について**

青葉山エリアにおける最新テクノロジーを織り交ぜた観光コンテンツ造成業務及びエリアの滞在環境整備にかかる回遊性向上に関する調査業務にかかる公募型プロポーザルにおいて、同業務にかかる企画提案書審査委員会を設置し行った書面審査の結果を踏まえ、次の通り受託候補者を選定した。

1 業務名

青葉山エリアにおける最新テクノロジーを織り交ぜた観光コンテンツ造成業務及びエリアの滞在環境整備にかかる回遊性向上に関する調査業務

2 公募手続きの経過

令和6年7月1日	公募手続きの開始
令和6年7月31日	応募図書の提出期限（6事業者から提出）
令和6年8月2日	審査委員会（プレゼンテーション審査、受託候補者を選定）

3 審査委員会の構成（計4名）

- ・ 審査委員長 文化観光局交流企画課長
- ・ 審査委員 文化観光局観光交流部観光課長
- ・ 審査委員 文化観光局観光交流部観光課企画調整担当課長
- ・ 審査委員 建設局百年の杜推進部公園管理課長

4 審査項目

下表のとおり、審査委員一人当たり200点満点で審査を行った。

評価項目及び詳細		配点
1	提案内容は、本業務の目的を十分に理解し、要素を欠くことなく簡潔に定められているか。	業務理解度 10点
2 業務内容に関する提案	提案内容全体に矛盾がなく、仕様書と整合性のとれた内容となっているか。	整合性 10点
	提案内容は、青葉山エリアの歴史的・文化的側面を踏まえたものとなっているか。	
	活用する最新テクノロジーは、新規性及び話題性を有するか。	話題性新規性 20点

	観光コンテンツの企画内容は、青葉山エリアの魅力を高め、来訪者等が青葉山エリアに興味・関心を持つと期待されるか。		40 点
	具体的なプロモーション計画が示されており、期待される誘客効果についても具体的な想定がなされているか。	的確性	10 点
	安全管理に対する考え方は十分か。		10 点
	「青葉山エリア文化観光交流ビジョン」を踏まえた効果的な調査研究計画が提案されているか。		20 点
	自主提案		20 点
3	実施体制(コンテンツ造成業務及び調査業務それぞれの人員配置や履行スケジュールは適切かつ十分に実効性のあるものか。)	適切性 実現性	20 点
4	同種業務の実績	実績内容	10 点
5	参考見積	妥当性	10 点

5 決定した事項

審査基準に基づき審査を行った結果、次の事業者の行った提案の合計点が最も高く、かつ選定のための最低基準を満たしているため、受託候補者として選定する。

●受託候補者：株式会社宮城テレビ放送（602/800 点）

※点数は、審査委員 4 名の合計点

6 今後の予定

発注者と受託候補者の間での協議を経て、業務委託契約を締結する。